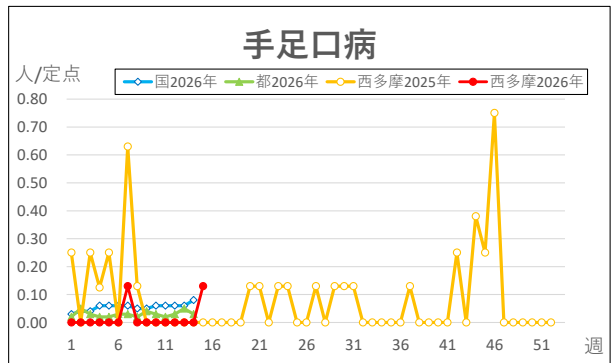
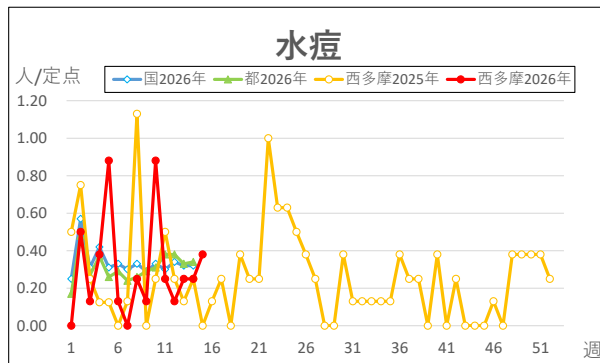
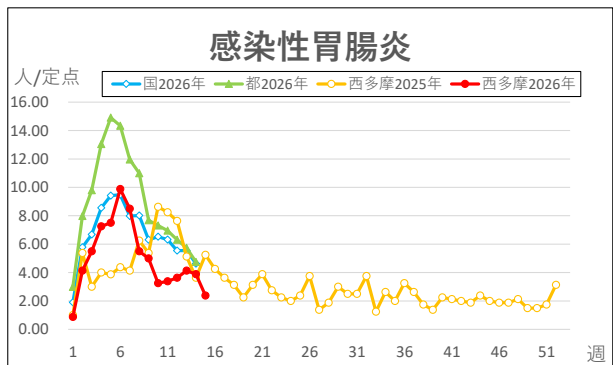
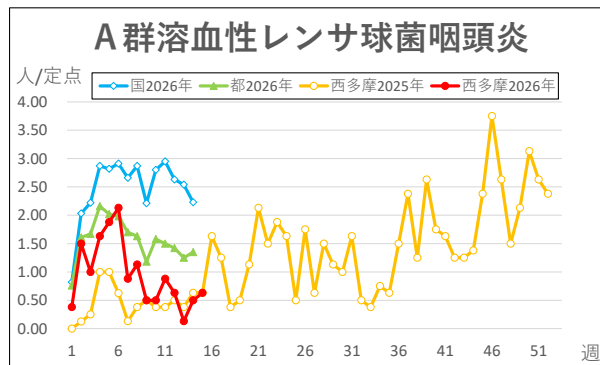
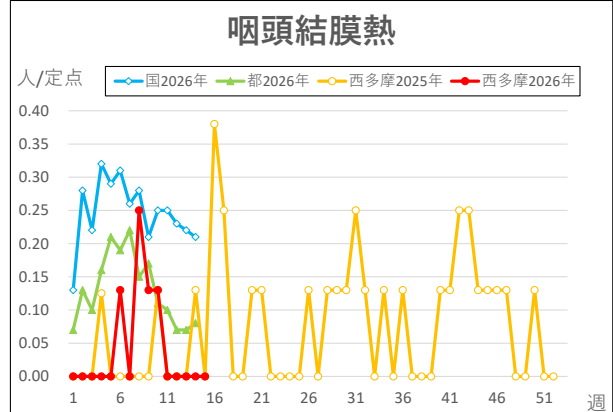
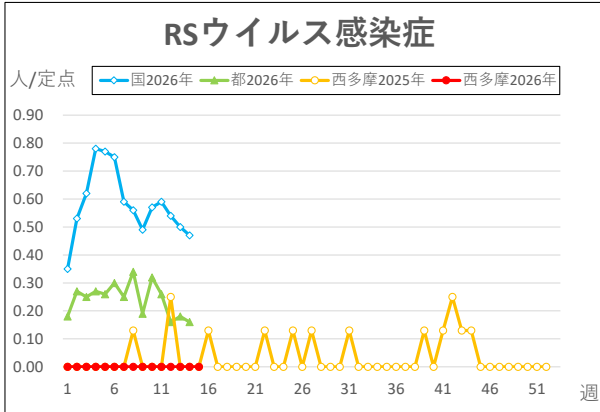
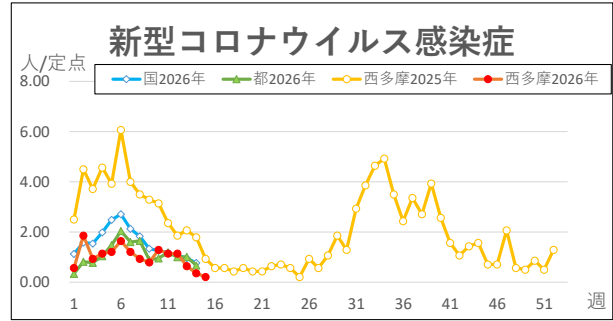
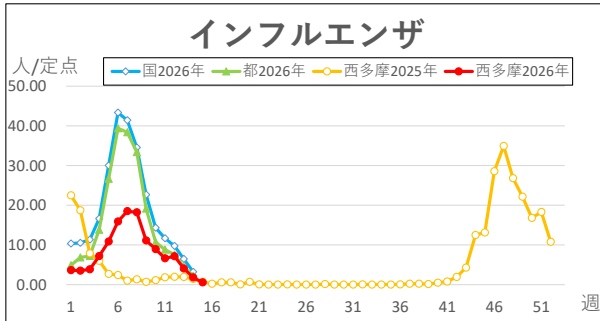


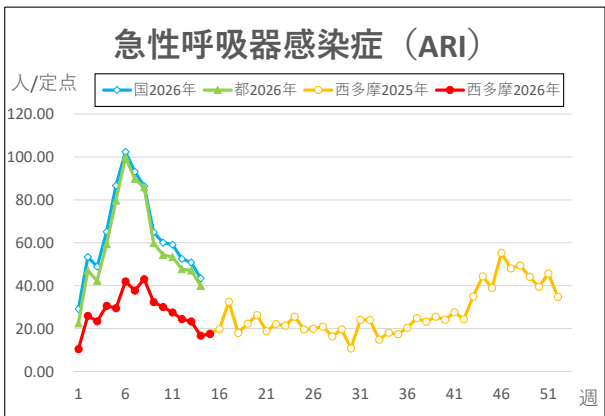
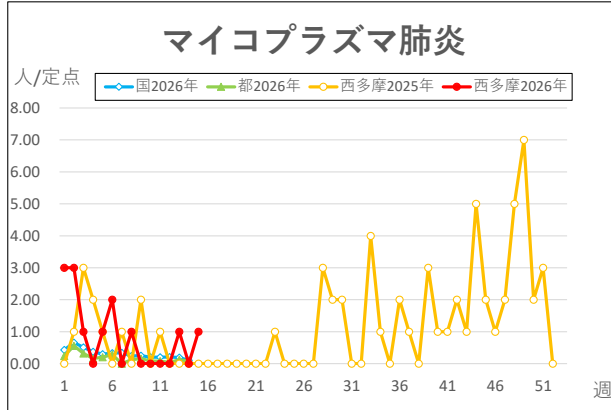
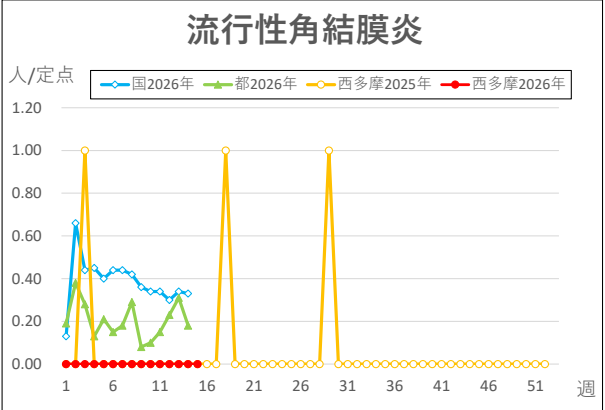
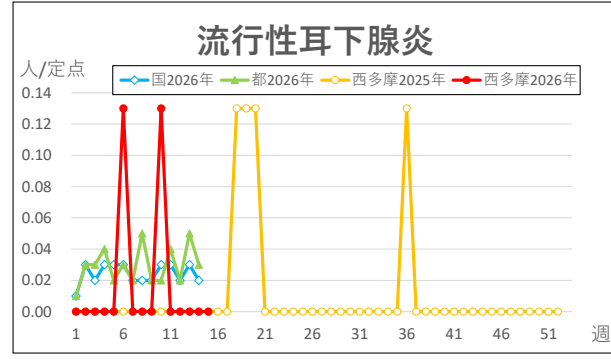
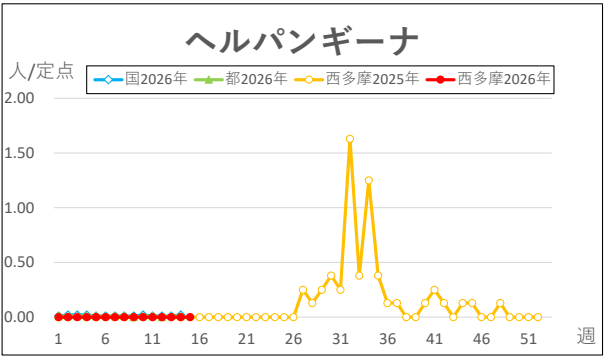
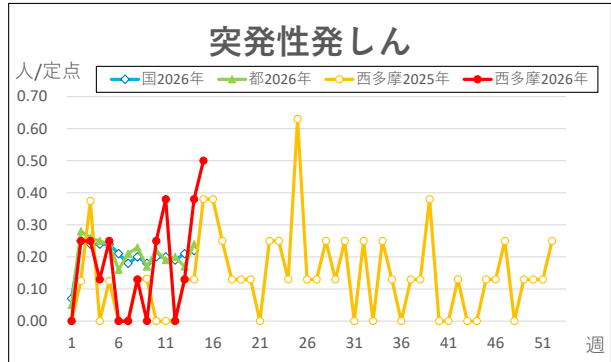
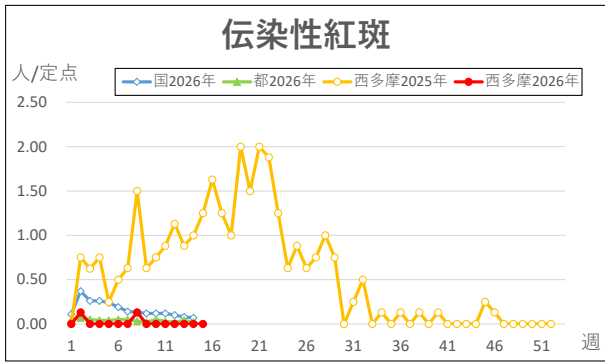
西多摩保健所感染症週報

東京都西多摩保健所
Tel 0428-22-6141



- *管内の発生動向及び定点把握対象疾患*** ()は内訳又は前週値
- 全数届出の疾患は、侵襲性肺炎球菌感染症1件(60代、女性)、百日咳1件(40代、女性)、麻疹1件(20代、男性)の報告がありました。
 - インフルエンザ0.57(1.79)、感染性胃腸炎2.38(3.88)と前週より減少していますが集団発生が続いています。
- *管内の感染症集団発生状況*** ()は内訳
- インフルエンザ1件(保育所)の報告がありました。
 - 感染性胃腸炎1件(高齢者入所施設)の報告がありました。

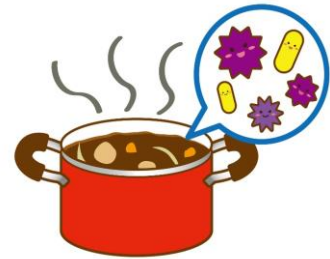




今週のトピックス

常温で放置したカレーにはご用心!?!～ウェルシュ菌～

暖かくなってきた頃こそ注意すべき、胃腸症状をきたす感染症第3弾について解説します。
今回ご紹介するのはウェルシュ菌です。



どのような病気ですか？

ウェルシュ菌とは、人や動物の腸管、土壌、水中など自然界に広く分布し、酸素を嫌う嫌気性菌です。
ウェルシュ菌の出すエンテロトキシンという毒素が腸管に炎症を起こします。

どのように感染しますか？

肉類、魚介類、野菜を使用した煮込み料理の摂取で発症しやすい病原体です。
事例としては、カレー、シチュー、スープ、麺つゆなどを、食べる日の前日に大量に加熱調理し、大きな器のまま室温で放冷されていることが多いです。
潜伏時間は約6～18時間です（平均10時間）。腹痛、下痢が主で、特に下腹部が張ることが多く、症状としては比較的軽いほうです。

どのように治療・予防できますか？

特效薬はなく、対症療法が基本です。多くの場合、1～2日で症状はおさまります。

予防については、以下の点が重要です。

- ① 前日調理は避け、加熱調理したものはなるべく早く食べること。
 - ② 一度に大量の食品を加熱調理したときは、本菌の発育しやすい温度を長く保たないように注意すること。
- やむをえず保管するときは、小分けしてから急激に冷却すること。

予防について、詳しくは以下のサイトにて動画配信をされております。
適宜ご視聴ください。

東京動画 わたくし、ウェルシュ菌というのですが…

～対策はふやさないのが決め手!～

<https://tokyodouga.metro.tokyo.lg.jp/gathbsgau-s.html>



直近8週間の西多摩保健所管内定点医療機関報告数（定点当たり）

	8週	9週	10週	11週	12週	13週	14週	15週	1週目からの累計
インフルエンザ	255 (18.21)	156 (11.14)	125 (8.93)	93 (6.64)	100 (7.14)	57 (4.07)	25 (1.79)	8 (0.57)	1,708
新型コロナウイルス感染症	13 (0.93)	11 (0.79)	18 (1.29)	16 (1.14)	16 (1.14)	9 (0.64)	5 (0.36)	3 (0.21)	211
RSウイルス感染症	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
咽頭結膜熱	2 (0.25)	1 (0.13)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	5
A群溶血性レンサ球菌咽頭炎	9 (1.13)	4 (0.50)	4 (0.50)	7 (0.88)	5 (0.63)	1 (0.13)	4 (0.50)	5 (0.63)	114
感染性胃腸炎	44 (5.50)	40 (5.00)	26 (3.25)	27 (3.38)	29 (3.63)	33 (4.13)	31 (3.88)	19 (2.38)	598
水痘（みずぼうそう）	2 (0.25)	1 (0.13)	7 (0.88)	2 (0.25)	1 (0.13)	2 (0.25)	2 (0.25)	3 (0.38)	36
手足口病	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	2
伝染性紅斑	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	2
突発性発しん	1 (0.13)	0 (0.00)	2 (0.25)	3 (0.38)	0 (0.00)	1 (0.13)	3 (0.38)	4 (0.50)	21
ヘルパンギーナ	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
流行性耳下腺炎（おたふくかぜ）	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (0.13)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	2
流行性角結膜炎	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0
マイコプラズマ肺炎	1 (1.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	0 (0.00)	1 (1.00)	13
急性呼吸器感染症（ARI）	603 (43.07)	454 (32.43)	422 (30.14)	386 (27.57)	343 (24.50)	304 (21.71)	234 (16.71)	245 (17.50)	5,751

○グラフは、5類定点把握対象疾患についての推移を表しています。グラフ縦軸の目盛は定点あたりの患者報告数です。
 ○管内定点医療機関数は、小児科定点8、内科定点6、眼科定点1、基幹定点1となっています。
 ○毎週の患者報告数は、管内の定点医療機関から毎週月曜日に報告を受け、週報として木曜日に発行いたします。
 ○データの出典元は、下記のとおりです。国及び都のデータは1週間遅れで掲載しております。
 〈出典〉東京都、西多摩保健所のデータ：東京都感染症情報センター <https://idsc.tmiph.metro.tokyo.lg.jp/>
 国のデータ：国立健康危機管理研究機構（JIHS） <https://id-info.jihs.go.jp/surveillance/idwr/index.html>